

月刊 きょうと教育通信

Vol. 21 平成16年9月号 発行:京都市教育委員会企画課 (TEL222-3768)

京都市教育委員会のHPは<http://www.edu.city.kyoto.jp/>でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

政令指定都市初！ 全小・中学校普通教室の冷房化スタート

9月13日、小・中学校の全普通教室冷房化推進事業を高野中学校、藤森中学校の工事着工を皮切りにスタートしました。

小・中学校においては、夏休みにおける学力向上のための補充・発展学習や2学期制の導入により、夏場の教育活動が大幅に増加し、集中できる快適な学習環境づくりの必要性が高まっています。

そうした中、政令指定都市で初めて、空調機が未設置の小・中学校の普通教室約3,000室の全室冷房化を平成16年度から5ヵ年計画で行います。

16・17年度でまず全中学校に！

総事業費は約60億円で、とりわけ、高校進学に向けた進路補習等の取組が活発な中学校を



空調機設置工事が始まった
高野中学校



先行して事業着手し、平成17年9月までに冷房化の完了を目指します。

なお、本市では、高等学校については15年5月までに、総合養護学校については16年6月までに、全ての普通教室に空調機を設置し、100%冷房化を達成しています。

◇ご意見・お問合せ＝教育環境整備室

(TEL222-3791)

大臣諮問会議が第1次まとめを提言 梶本市長が提唱した施策を導入

我が国の今後の教育の方向性を検討する、河村建夫文部科学大臣の諮問会議、「これからの教育を語る懇談会」(座長:牛尾治朗 ウシオ電機株式会社会長)が、9月1日、第1次まとめを大臣に提出しました。

懇談会は、日経連 奥田会長や日本学術会議 黒川会長、中教審 鳥居会長、東大 佐々木総長等、各界を代表する委員12名で構成。まとめでは、全国の市長を代表して委員に就任した梶本頼兼市長が提唱した「教員養成の専門職大学院の設置促進」等を提示しています。

また、FA制の導入や優秀教員の顕彰、学校

梶本市長の提唱した
施策が「まとめ」に反映



評議員制度、学校評価システムの確立など、本市が全国に先駆けて導入した施策の全国化を求めるものとなりました。

◇ご意見・お問合せ＝企画課 (TEL222-3768)

《9月の主なできごと》

- 2日 全国中学校体育大会で優勝を果たした嵯峨中ソフトボール部、藤森中水泳部(男子200mバタフライ)が梶本市長に優勝報告。
- 6日 世界的指揮者で音楽高校の芸術顧問 佐渡裕氏が同校生徒約60名のオーケストラに特別レッスン。
- 7日 漢学者の白川静氏著書寄贈式。桂東基金管理委員会から「常用字解」等著書4冊を西京区内学校・図書館等37ヵ所に寄贈。
- 10日 経済協力開発機構(OECD)が「科学技術分野に資する人材育成」という観点から、全国の高校で唯一堀川高を視察。
- 12日 西京高附属中オープンキャンパス。期待に満ちた子ども等2,400名が来校。今春入学の1期生が学校紹介・コンサートでお出迎え。
- 15日 紫野高「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール」第3回運営指導委員会。大学教授等委員の方々に英語研究に対し指導助言いただく。
- 18日 みやこ子ども土曜塾フェスティバル。万華鏡づくり、漢字教室等体験教室に小・中学生、保護者が多数参加。
- 〃 小学生アイデア展。子どもの創意溢れる動くおもちゃの展示とアイデア工作教室。(～21日まで3日間、於:京都アスニー)

新たな教員評価システムの構築に向けて 調査研究協力者会議が中間まとめを提出

教員の実績や能力、意欲を適正に評価し、処遇に反映させることができる新たな教員評価システムの構築を検討するため、平成15年5月に設置された、学識経験者、保護者代表、校長代表からなる「教員の評価に関する調査研究協力者会議」（委員長：堀内孜京都教育大学教授）は、9月2日、中間まとめ「新たな教員評価システムの導入に向けて～より一層の教員の資質向上と学校の活性化のために～」を門川大作教育長に提出されました。

中間まとめは、検討段階で関係団体からの意見聴取や、広く市民・保護者から意見募集を行うなど、オープンな議論を経て、成案化されました。

教員の能力・意欲・実績について、校長・教頭が加点主義による絶対評価で評価し、その評価を基に指導・助言を行って資質向上を図ることや、



中間まとめについて堀内委員長と土井委員が門川教育長に説明

教員の主体性と意欲喚起を目的に自己目標申告制度を導入すること、また、保護者評価の重視や児童生徒による授業評価の導入を検討することなどを提言されています。

教育委員会では、今後、中間まとめに基づき、新たな教員評価システムの具体化に向けた取り組みを進めます。

中間まとめやこれまでの会議の議事要旨、パブリックコメント等については、ホームページ（<http://www.edu.city.kyoto.jp/kyoshokuin>）に掲載しています。

◇ご意見・お問合せ＝教職員課（TEL222-3777）

「おやじの会」連絡会が16年度総会開催

『子どもが見てるぞキャンペーン』で

全国に向けて行動提起

9月3日、おやじの会関係者約350人の参加の下、京都「おやじの会」連絡会（会長：森田眞利山ノ内小PTA会長）の16年度総会が開催されました。

総会では、小中学校121校に活動が広がる中、各校を代表して、太秦小・安朱小のおやじの会からの活動報告、続いて、連絡会の顧問堀場厚氏（堀場製作所代表取締役社長）による講演が行われました。

講演では、「try and error（何事もまず試みることで、そして失敗から学ぶこと）」や「遊び（動きの余裕、心のゆとり）」の大切さ等、一人一人の参加者の心に響く内容に、会場が大きな感動に包まれました。

最後には、山下重喜副会長が「子どもが見てるぞキャンペーン」アピールを力強く宣言。満場一致で承認され、10月3日（とうさんの日）に全国に向けて発信することが決議されました。



左から、講演する堀場顧問、総会で挨拶する森田会長、アピールを宣言する山下副会長。

◇ご意見・お問合せ＝家庭地域教育支援課
（TEL222-3811）

伏エラグビー部の感動の物語が映画化

『スクールウォーズHERO』上映開始!

昭和56年、奇跡の全国初優勝を成し遂げ、これまでに3回の全国優勝を果たした伏見工業高校ラグビー部。9月11日、この感動の軌跡を題材とした映画「スクールウォーズHERO」が、京都で先行上映されました。

先行上映にあたり、原作者で、同部の初優勝当時、監督を務め、映画の主人公のモデルとなった山口良治京都市スポーツ政策顧問は、「教師と子どもの絆、親と子の絆の大切さに気付いていただくきっかけになればうれしい。」と舞台であいさつ。同校OBでもある関本郁夫監督が、「山口さんから命を賭してやってくれるなら、とようやく映画化させてもらった。この作品を一人でも多くの人に見ていただきたい。」と映画にかけた情熱を語りました。



この映画は、9月18日から全国の松竹系映画館で上映され、全館満員となっています。

◇ご意見・お問合せ＝企画課（TEL222-3768）